

平成25年度福井県学力調査（SASA2013）について

1 概 要

県内の児童生徒の学習状況を把握するため、小学5年生、中学2年生を対象に県独自で実施している。調査の結果分析により、児童生徒の学習課題を明らかにし、それを基に課題克服教材集（リトライプリント）や指導事例集を作成して、授業改善に活用している。また、平成22年度からは、全国学力調査を考慮して、国語、算数・数学において、A問題（基礎力問題）とB問題（活用力問題）を分けて実施している。

2 今年度の調査結果

（1）調査期間 平成25年12月13日（金）～12月20日（金）

（2）対象学年・教科 小学校5年（200校7,503人）国語、社会、算数、理科
中学校2年（78校7,763人）国語、社会、数学、理科、英語

（3）出題の主なねらい

過去のSASAや全国学力調査において課題となった内容や、新学習指導要領で重視されている内容に関する問題を増やした。

【小学校】

教 科	出 題 の 主 な ね ら い
国 語	○全国学力調査で課題となった言語活動に沿った内容を多く出題 ・「話し合いの場面において、司会の役割を問う問題」 ・「お気に入りの本をみんなに紹介するために、人物の気持ちが分かる表現を文章中から選んで説明させる問題」など
社 会	○新学習指導要領において重視されている内容を多く出題 ・「日本の国土を構成する島や最南端の島など我が国の位置・領土に関する問題」 ・「食糧生産・工業生産における価格と費用に関する問題」など
算 数	○新学習指導要領において新しく加えられた内容や中学校数学とのつながりを意識した内容を出題 ・「ひし形の面積を求める問題」 ・「空間図形につながる立方体の見取図や展開図の問題」など
理 科	○観察・実験に関わる問題や学んだ知識が実生活に活用できるかを問う内容に重点を置いて出題 ・「虫眼鏡の正しい使い方などこれまで課題となっている観察・実験に関わる問題」 ・「太陽の動きと日陰の位置の関係を推察する問題」など

【中学校】

教科	出題の主なねらい
国語	○新学習指導要領の重点項目（「言語活動の充実」・「伝統的な言語文化に関する指導の重視」）に対応した新しい内容を出題 ・「古典を扱った言語活動（古典文学における月をテーマにしたプレゼンテーション）を素材とした問題」など
社会	○新学習指導要領で重視されている「社会的な思考・判断・表現」に関する内容を多く出題 ・「歴史的人物をグループ分けする視点や、交通革命による航空路有無の理由などについて、資料をもとに短文記述式問題」
数学	○日常生活の場面で数学を活用する問題を出題 ・「生徒の登校時刻に関するヒストグラムの特徴を基に、あいさつ運動を行う時間帯についての判断理由を説明する問題」など
理科	○観察・実験の結果などから科学的に探究する活動に関する問題を出題 ・「タンパク酵素による実験や地震波の観測データの読み取り問題」など
英語	○過去の SASA で課題となった内容を出題 ・「文章の概要を読み取る力を問う問題」 ・「資料と関連づけながら英文中から必要な情報を読み取る活用力を問う問題」など

（４）各教科の結果（平均正答率）

	小学校				中学校				
	国語	社会	算数	理科	国語	社会	数学	理科	英語
今年度	57.8	70.5	54.0	68.0	57.4	58.0	55.0	54.7	60.4
（前回）	66.4	69.3	63.7	60.3	69.8	64.8	56.6	63.6	64.6

今回は、過去において課題となった内容や、新学習指導要領で重視されている新しい内容に関する問題、記述式の問題を増やしたことなどにより、全体の難易度が上がり、平均正答率が低下した教科が増えた。

（５）課題等

（小学校）接続語、社会用語、回路図などに関する基本的な知識や用語はおおむね定着しているが、資料を読み取って自分の考えをまとめることや複数の資料を関連付けて説明することなどに課題がみられる。理科の実験・観察に関する技能の定着にも課題がみられる。

（中学校）同音異字や社会用語、連立方程式、対話に対する適切な応答（英語）などに関する内容はおおむね定着しているが、自分の気持ちを根拠を明確にして書くことや、地図や実験結果のグラフの読み取り、英文と資料とを関連づけることに課題がみられる。

(6) 調査結果の活用

- ・調査の分析結果、課題となった学習内容については、具体的な改善策や補充問題を掲載した「課題克服教材集（リトライプリント）」を作成し、1月15日に各市町の指導主事を集めた会議において、すべての学校で活用するよう説明したところであり、各学校では、学年の復習や単元のまとめなどの補充学習において活用を始めている。
- ・さらに今後、県平均との比較を基に、学校ごとの課題に対する指導や市町教委による学力向上研修等を行うとともに、3月中旬までに「指導改善事例」を取りまとめ、4月からの授業に活用していく。